

平成 24 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	020700	TEL	2998-9036
事業コード	全庁ネットワーク運用管理事業	情報統計課				
020702						
開始年度 平成 8 年度 → 終了年度 平成 年度		グループ	情報推進グループ			

②事業概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市電子市役所推進基本方針、所沢市電子市役所推進アクションプラン4				
	関連・類似事業	情報セキュリティ対策推進事業(情報統計課)				
	総合計画の体系	章	行財政運営	節	行政経営	基本方針
事業開始の背景	平成8年度の財務会計システムの導入を契機に内部情報系ネットワークを整備、行政事務を迅速に処理するうえで、ネットワークの活用は不可欠なものとなった。また、情報通信技術の進歩はめざましく、専門的な知識を必要とすることから、全庁ネットワーク運用管理は常駐SEによるものとした。					

③事業内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	年間を通して、全庁ネットワークの安定的な運用管理を行うため、ネットワークの監視やネットワーク機器の障害対応など、常駐SEと連携しネットワーク全体の運用保守を迅速かつ的確に行う。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 22 年度	3,119 台
	ネットワーク機器、サーバ、パソコン、プリンタ等、ネットワークに接続している機器全て				平成 23 年度	3,179 台
事業の具体的な内容及び実施方法						
①各種通信回線・ネットワーク機器の導入及び維持管理を行う。(本庁舎・各出先機関内、本庁舎～出先機関間、インターネット、LGWAN) ②各種サーバ、パソコン、プリンタ等の導入及び維持管理、セキュリティ対策を行う。 ③各課からのパソコン、ネットワークに関する問い合わせ及び障害等の初期対応を行う。 ④各課個別システムの機器調整等の支援を行う。						
なお、各種機器への設定や障害対応等については、主に委託の常駐SEが、簡易な質問対応やファイル復元等については職員が行う。						

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 22 年度 (千円)	平成 23 年度 (千円)	平成 24 年度 (千円)	
	当初予算		160,979	158,451	129,237	
	決算(見込み含む)		146,767	140,126		
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(人)	(人)	(人)	※「財源内訳」について平成24年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	正規職員人件費		1.23 人	11,390	1.23 人	
	事業費合計		158,157	151,431		
財源内訳	一般財源		158,157	151,431	129,237	
	国・県支出金					
	その他()					

⑤実績・成果	項目名	計算方法	単位	H 22	H 23	H24見込み	将来目標	
	活動実績	問合せ及び障害等対応数	各課の問合せ・障害等に対応した回数	回	3,120	3,276	3,276	
		復旧所要時間	復旧に要した時間の総合計÷対応回数	分	3	3	3	
	成果指標	全庁ネットワーク正常稼働率 (SE常駐時間内)	(1-停止時間÷稼働時間)×100 (SE常駐時間内)	目標値	100	100	100	100
実績				99.98	99.56	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」の拡大を図る		
			達成率	99.98	99.56	<input type="checkbox"/> 「実績」の縮小を図る		
昨年度中に改善した点 パソコンを60台増設したことにより、これまで行き渡っていなかった職員へ配布が可能となり、業務の効率化を実現した。 ドメインコントローラ ^{※1} 及びウイルスゲートウェイ ^{※2} を入れ替えたことで、機器老朽化に伴う障害を未然に防いだ。 ※1…コンピュータやユーザのログオン認証を行うためのアカウント情報(ドメイン情報)を一括管理するサーバ ※2…メールの送受信やWeb閲覧のためのバケットを監視し、コンピュータウイルスが含まれていると削除する機器								

⑥評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方今向後の事業の実施方法 次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	評価理由と今後の方向性(課題と対応)	情報通信技術の進歩はめざましく、常に最新のIT情勢に対応するためにも、今後も事業を継続していく必要がある。 今後は、目的もOSの種類も異なるサーバを集約させ、一括管理することで、機器のディスク容量など資源を有効活用し総経費及び電力、二酸化炭素の削減を図るためにサーバ仮想化技術の導入や、平成19年に入れ替えたネットワーク基幹機器の老朽化に伴い全庁ネットワークの再構築を行う必要がある。 このほか、正規職員一人につき1台パソコンが使用できる環境が整っているが、増加傾向の臨時任用職員及び再任用職員のためのパソコンを整備していく。	
	事務改善ミーティングで示された意見とその対応		
評価日	H24.5.31	評価者職氏名	情報統計課長 浦山 克巳

⑦環境影響	原因活動(サーバ・パソコンの効率的な運用)	原因活動(サーバ・パソコンの利用)	規制を受ける主な環境法令等の名称	無
	<input type="checkbox"/> ITを活用した市民サービスの向上	<input checked="" type="checkbox"/> 天然資源(森林・化石燃料)の減少		
	<input type="checkbox"/> 有害な環境影響(重大なものには○)	<input type="checkbox"/> 廃棄物の排出		
		<input type="checkbox"/> 公害(大気汚染・騒音等)の発生		
	<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> その他()	有害な影響を与える緊急事態の内容	無
	<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> その他()		